

自分を育て 人とつながる

廿日市市では、毎年児童・生徒が意見を述べる「VOICE」という発表会があります。「VOICE2021」のテーマは「今の学びから得たこと」でした。本校の代表の小学校6年生の児童が発表した内容は「コロナ禍にあって、生活や学習の仕方を自分で工夫をするようになった。ICTも上手に活用できるようになり、オンラインでたくさんの人と交流することもできた。その中で、気付かされたことは、直接人と人が触れ合うことの大切さだった。それが吉和地域の一番の魅力だった。それを今から取り戻す行動をしたい。」というものでした。新型コロナウイルス感染症対策による制限が加わったことで、オンラインでの交流や発表は、当たり前のようにできるようになりました。広島県内外の小・中学校との学習紹介、学んだ英語を使って韓国の中学生と自己紹介、地域のお年寄りとのオンラインによる交流会、自分達の取組に対する廿日市市シティプロモーション室からの助言、ふるさと発表会や生徒会サミットにおける意見発表等…吉和小・中学校のかかえる物理的な距離をもものともせず、昨年度は多くの人とつながることができました。コロナ禍でできることを追求していく中で、児童・生徒は自分自身のできることを見つけ、努力し、自分を育ててきました。また、オンライン上でありながら、人と人がつながれる、学び合える喜びを味わうこともできました。そのような活動を積み重ねる中で、「吉和地域では、お互いがよく知り合っていて、よく声をかけてもらい、一緒に行事の準備をし、楽しみ、つながりを深めていっていた…そのよさ、大切さ、ありがたさ」に改めて気付かされたのでした。

今後、社会はおそらく急速に変化していきます。ICTの技術も格段に進化していくことでしょう。しかし、その中にあってもなお、人は、人とのつながりから感じ、学び、自分や周りを育てていくものだと思います。子供達のふるさとである「吉和」という温かい地域がそれを教えてくれました。

吉和小・中学校は、その吉和地域で9か年の義務教育を担う学び舎としての誇りを持ち、全教職員で全児童・生徒を育てていきます。本年度も引き続きよろしく願いいたします。

令和4年4月吉日
校長 戸崎志乃婦

